

東京電力株式会社殿向け送電用変電所用遠方監視制御装置（ユニット分割形）子局

◆ 概 要 ◆

東京電力株式会社殿では、2階層制御への順次移行・展開を計画している。2階層制御では上位システム（系制，配制）と下位装置を新伝送方式で連係することが必要となる。このため，新伝送方式に対応する伝送部（開発中）に接続可能な送電用遠方監視制御装置を開発した。本装置は株式会社明電舎殿，日本工営株式会社殿との共同で開発を実施した。

◆ 特 長 ◆

- ①装置を複数のユニットで構成し，開発済みの配変用ユニット分割形装置の技術を活用
- ②ユニット間は汎用プロトコルを適用し，経済性向上，機能拡張の柔軟性，システムの信頼性を向上
- ③高性能CPUの適用と部品点数の大幅削減により，コスト低減と信頼性を向上
- ④端子架1台当たりの装置容量を従来の1.4倍に増加し（350ポジション），端子架数が低減可能（最大装置容量2,000ポジション）時，8面（従来）を6面に低減可能
- ⑤ヒューマンインターフェースに汎用パソコンを使用し，ブラウザ利用によりメンテナンス性能を向上



装置外観（左：ロジック架，右：端子架）

◆ 機 能 ◆

- ①操作
変電所機器の操作，要求操作，遠方/直接切替が可能
- ②表示・計測
変電所全体の運用状態が把握できる
- ③システム監視
ハード・ソフトウェアの不良を早期に発見
- ④設定
上位，メンテナンス装置による設定が可能
- ⑤時刻同期
装置の時刻設定（一定時間毎）に対応